

学校支援

令和2年7月30日 NO.4

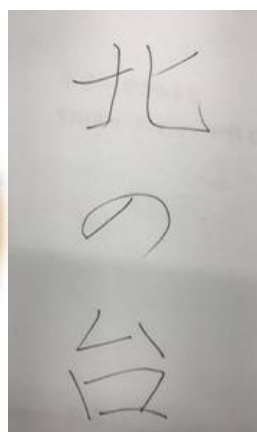
発行：北広島市学校支援地域本部
 連絡先：北広島市教育委員会社会教育課内
 TEL 372-3311(内線4847)
 Fax372-4525
 学校支援コーディネーター
 伊藤 登喜子

～福祉の学習がはじまりました～

社会福祉協議会の協力を得て、毎年市内のほとんどの小学校で福祉学習に取り組んでいます。今年度はコロナ感染対策で例年とは違った動きになっていますが、北の台小学校、双葉小学校をかわきりに始まりました。今年度もよろしくお願いたします。



肢体障がいの方の講話・北の台小学校



不自由な手で練習をして学校の名前をとてきれいな字で書いてくださいました。ずっと目標をもって努力を続けている高橋さんのように、頑張れる人になりたいですね！！



7月3日(金)講師に障がい者生活支援センター「みらい」ピア・カウンセラーの高橋 諭さんをお招きしての講話が、北の台小学校5年生を対象に総合的な学習の時間で行われました。

高橋さんは、工作中的事故に合い、車いす生活になったこと。事故当時の心の葛藤や健康なときには感じなかった親のありがたさや大切さ。あきらめずに、ポジティブな気持ちを持ち、目標を持って1つ1つクリアしていくことの大切さなどを話されました。

最後に「なんでも良いので目標を持ち、それに向かって努力し、できることをひとつずつクリアしていくこと」「どんな時でも子どものことを大切に思っているのは親です。皆も親を大切に思ってもらいたい」「車いすの人たちに対する優しい心づかい、声掛けをしてくれることを望みます」という話がありました。また、高橋さんは「車いすに乗っていると傷つくことがあるけれど、他の人と劣っているとは思わない。障がい者もみんなと一緒に社会を作っている、という気持ちで頑張っています。」と力強く話してくださいました。

みんないっしょ！！です。



「ともに生きるって」・オリエンテーション 双葉小学校



7月7日（火）に社会福祉協議会の風間 公彦さんをお招きし「福祉ってなあに？」と題した講話が、双葉小学校4年生を対象に総合的な学習の時間で行われました。

ホチキスやはさみ、リンスとシャンプーなどユニバーサルデザインの商品のお話しと、自動販売機の工夫を紹介してもらいました。また、「身体の不自由な人もみんなと同じように自分でできることがたくさんありますが、困っている時は、優しい心を持って『何かお手伝いしますか？』と声掛けをして欲しいです。そのためには、普段からちょっとだけ自分の行動に自信と自覚、優しい気持ちを持って生活してほしい。」と最後に風間さんよりお願いの言葉がありました。

また、毎年オリエンテーションの後に行っている体験学習が今年にはできない事も考慮して、車いす体験で、車いすの操作の注意、目の不自由な方の使っている白杖などの話も取り入れていただきました。

ユニバーサルデザイン

